

京都コモンズ会員各位

京都コモンズ第5回ワークショップ(兼 第22回セミナー)のご案内

ーヘルスケアにおける最先端診断科学・技術ワークショップー

謹啓、時下、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、11月29日(水)にヘルスケアにおける最先端診断科学・技術の紹介および研究者との交流を目的とし、京都コモンズ第5回ワークショップを開催させていただきます。

(本ワークショップは第22回セミナーを兼ねさせていただきます。)

奮って参加下さいますようお願い申し上げます。

【日時】 平成29年11月29日(水) 14:00～

【場所】 京都市成長産業創造センター (ACT Kyoto) 2F セミナー室

【参加費用】 ワークショップ、情報交換会とも無料

【プログラム】

開会ご挨拶 (14:00～14:05)

I) 講演 1 (14:05～15:05)

アークレイ株式会社 研究開発部 平井 光春 氏

「糖尿病とがんにおけるバイオマーカー測定技術の開発状況」

《講演要旨》

糖尿病におけるバイオマーカーとして古くから知られている血糖について高精度かつ簡便に測定するための技術開発について紹介する。さらに、近年注目されている遺伝子検査をはじめとする癌のバイオマーカー測定技術の開発状況について紹介する。

II) 講演 2 (15:05～16:05)

京都大学学術研究支援室室長 京都大学名誉教授 佐治 英郎 氏

「画像診断、創薬研究に資する生体イメージングバイオマーカー」

《講演要旨》

特定の生体機能に関与する化合物に放射性同位元素や蛍光物質を結合、含有させ、その体内挙動を可視化解析することによって、生体内の特定部位での生物学的事象を分子および細胞レベルでインビボ評価・解析することが可能となる。このイメージングプローブをバイオマーカーとして用いる生体分子イメージング法の機能診断や医薬品開発への応用について紹介する。

III) 講演 3 (16:15~17:15)

京都府立医科大学分子脳病態解析学講座 教授 徳田 隆彦 氏

「アルツハイマー病の血液バイオマーカー開発とその認知症研究・診療における意義」

《講演要旨》

演者は過去20年にわたってアルツハイマー病(AD)やパーキンソン病などの生化学バイオマーカーの開発研究に従事してきた。これまでは脳脊髄液バイオマーカーが主体だったが、実臨床には普及せず、現在は、国際的に血液バイオマーカーの開発競争が熾烈になっている。今回は、脳疾患のバイオマーカーについて、最新の状況と今後の展望をお話する。

IV) 情報交換会 (引き続き)

※ 参加申し込みは、添付ファイルに必要事項ご記入の上、11月22日(水)までにメール (jitsumu@kyoto-commons.jp) または FAX(075-601-8633)でお送りいただくか、又はホームページ (<http://www.kyoto-commons.jp/>) よりお申し込みください。

平成 29 年 11 月 吉日
「京都コモンズ」 理事長 牧野圭祐